

平成17年6月7日
海上保安庁

問い合わせ先

海洋情報部海洋調査課航法測地室
主任衛星測地調査官 藤田 雅之
TEL03-3541-4232 (内線 670)

福岡県西方沖の地震により玄界漁港が南南東に 29cm 移動

平成17年3月20日に福岡県西方沖で発生した地震(M7.0)によって、玄界漁港が南南東方向に29cm動いたことがGPS観測からわかりました。

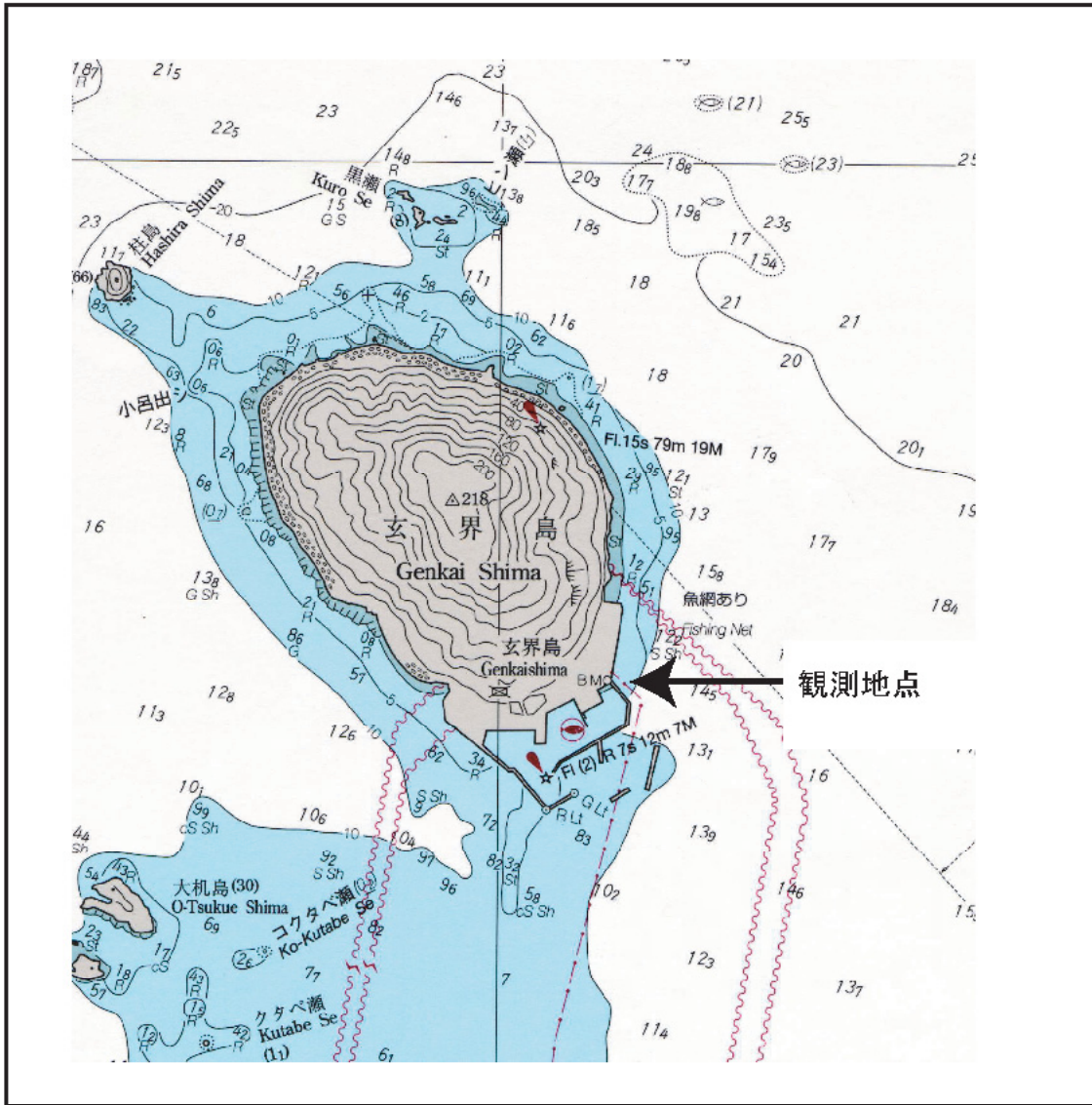
地震発生後の平成17年4月15日、玄界漁港内(玄界島南東端)において、第七管区海上保安本部がGPS観測を行いました。測点図を図1に示します。この観測点では、平成14年8月に同様の観測を実施しており、今回の結果と比較することによって、水平位置の差を算出しました。

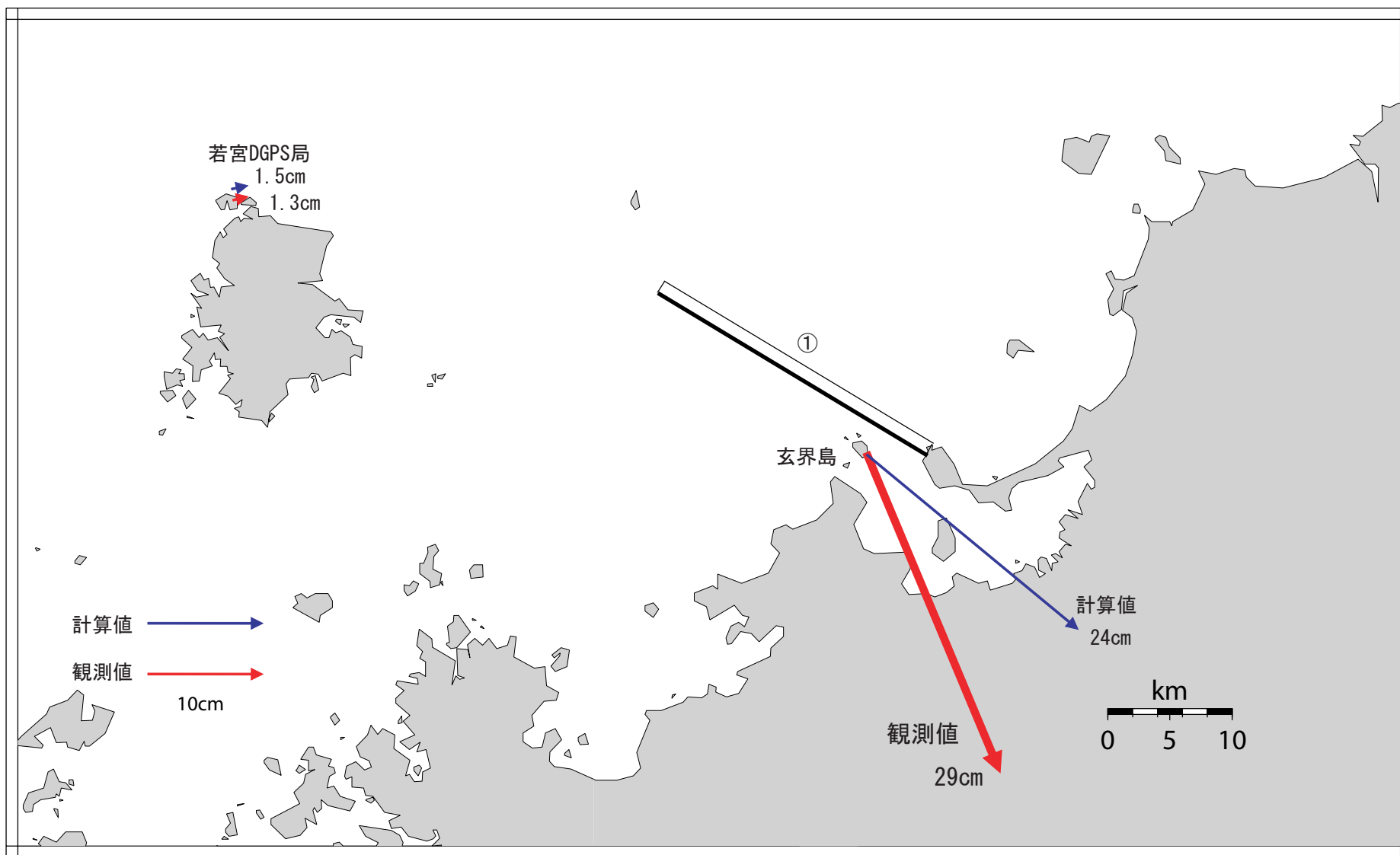
玄界漁港内観測点における地震発生前後の水平変動は、図2の矢印のようになります。図2には、壱岐島にある若宮ディファレンシャルGPS局の変動(3月28日発表)についても併せて表示しています。

また図2には、国土地理院発表の断層モデルから計算される観測点の水平変動を共に示していますが、玄界島では計算値は方向・大きさ共に観測値と異なっています。この理由として、玄界島が断層のごく近傍にあるため単純な断層モデルと実際の複雑な断層運動との違いが大きく現れたこと、あるいは玄界漁港内の地盤変形など局所的影響を受けている可能性が考えられます。

なおこの結果は、6月8日に開催される地震調査委員会で報告する予定です。

玄界島測点図





①：国土地理院断層モデルの位置